

# 地域おこし協力隊です

地域を活性化することを目的に誕生した地域おこし協力隊。昭和村に興味を持ち移り住んだ高橋梨果子さんが、地域おこし協力隊として活動しています。

▼問合せ 企画課地域振興係  
☎ 24-5111 (内線141)



たかはし りかこ  
**高橋 梨果子**さん (21歳)

東京都小金井市出身。4月1日に地域おこし協力隊として昭和村に着任。  
趣味は観光地めぐりで、チェーンソーや刈払い機を扱えます。農業に興味があり、「やさい王国」昭和村の魅力をSNSで発信していきたいと話します。

## 今

年4月に、昭和村地域おこし協力隊として着任した高橋梨果子さん。地元東京の農業高校で学ぶなど、もともと農業に興味を持っていたことに加え、道の駅や高速道路のサービスエリアが好きだったことから、両方の思いをかなえられる、昭和村の道の駅「あぐりーむ昭和」で働きながら活動することを決意しました。

昭和村に来てみて、利根沼田望郷ラインから見える畑の景色に感動したという高橋さん。現在は、道の駅で野菜の管理をやるかたわら、敷地内に借りた自身の畑で、ナスやオクラなどを栽培しています。これからも試行錯誤を重ねながら、来年には出荷できる野菜を育てることを目標にしています。

高橋さんは「今はコロナ禍で厳しいですが、今後は、多くの農家さんとお会いして農業のことについてもっと学ぶとともに、SNSを使って発信もしていきたい」と意気込みを話していました。

## 地域おこし協力隊 高橋さんが

### 農家・青木繁和さんを訪問

9月15日、高橋さんは農家の青木繁和さん宅を訪ねました。

群馬県立農林大学校を卒業して就農した青木さんは、父・敏一さん・母・幸子さんとともにトマトやこんにゃくなどを生産。青木さんは、これまで学んできた農産加工や6次産業化を実践していきたいと意気込みを語りました。高橋さんは、青木さんの思いや取り組みに、熱心に耳を傾けていました。



商品用に加工されたトマトジュースなどとともに青木繁和さんから就農への思いを聞く高橋さん



後継者について語る敏三さん



トマト栽培について幸子さん(右)に伺いました